

総合病院 聖隷浜松病院 S棟



外観

「聖隷浜松病院」は、静岡県西部の地域医療において、中核的役割を担う総合病院。このたび、駐車場不足の緩和、スタッフエリアの集約、アイセンターの開設、感染症病床対応などを目的として、S棟の建替えを実施した。



3Fアイセンター  
外来入口

来院時すぐに手洗いができるよう、自動水栓を設置した洗面器を設置。深く大きいボウルは水はねしにくく、車いす使用者のアプローチにも配慮した病院用洗面器を採用している。



3Fアイセンター 受付

新設された3Fアイセンターは、眼科と眼形成眼窩外科の診療科で構成。診察室に隣接して手術室を設置、多くの症例に対応できるとともに、外来診療と手術を直結させたスピーディーで高度な医療を提供している。



3Fアイセンター 診察室

医療従事者が診察室に入出入りする入口付近に、スタッフ用手洗器を備え、動線を考慮し、適切なタイミングで手指の衛生が保たれるようにしている。



3Fアイセンター  
トイレ入口

離れた場所からも視認性がよいピクトグラム。ドアの低い位置に大きく掲示することで、目線が低い車いす使用者をはじめ、高齢者などさまざまな利用者に、わかりやすくなるよう配慮している。



3Fアイセンター  
男性トイレ

小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。気分がすぐれない方などへの安全対策として、小便器の間に呼出ボタンを設置している。



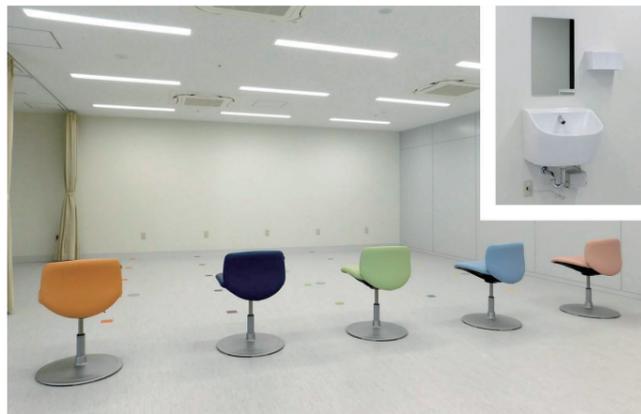
3Fアイセンター  
女性トイレ

荷物の置き場所に配慮し、清掃性に優れたツインデッキカウンター（ボウル一体タイプ）を採用。洗面器の間にクリーンドライを設置し、床への水垂れを抑制している。大便器は、清掃性に優れた壁掛式を採用している。



3Fアイセンター  
バリアフリートイレ

車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備。しっかり手洗いができるように、大きめのボウルを備えた洗面器をコーナーに設置している。



3Fアイセンター 検査室

視力測定など目の検査を行う検査室内に、スタッフ用手洗器を設置。また、眼科と感染症病棟のハイブリッド病棟となる4Fにも、スタッフ動線のいたるところに同様の手洗器が備えられている。



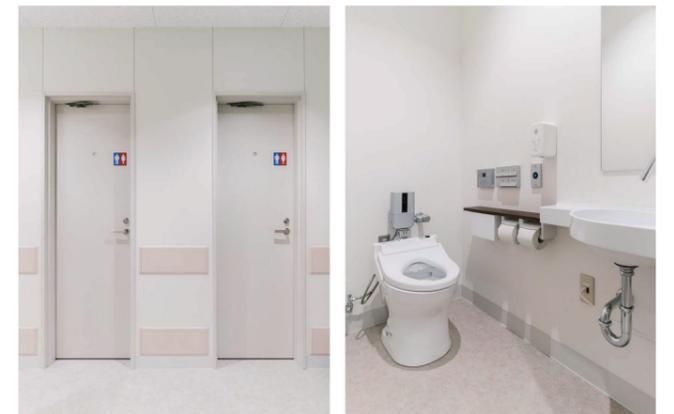
4F病棟  
スタッフステーション

2方向が廊下に面したスタッフステーション。さらにガラス張りで見通しを確保しながら、感染症対策として開口部を最小限にしている。



4F病棟  
スタッフステーション  
更衣室

スタッフステーションへの出入りは、必ず更衣室を通る動線設計。床の色分けにより直感的に汚染エリアの区分ができるよう、グリーンの床はクリーンエリア、オレンジの床は汚染エリアを示している。



4F病棟  
スタッフ専用トイレ

多忙なスタッフがすぐに利用できるよう、スタッフエリア内に性別を問わず利用できる個室完結型の男女共用トイレを2ヶ所設置。トイレ内で手洗いや見繕いができるように、手洗器と化粧鏡が用意されている。

# 総合病院 聖隷浜松病院 S棟



4F病棟 2床室

4Fは、有事の際に感染症病床として機能するハイブリッド病棟。前室と病室間のドアは気密性の高いエアタイトドアを採用。トイレやシャワールームの出入りは、2ウェイとし、病室内からも使用できる設えとしている。



4F病棟 2床室 前室

平時は前室に設置された洗面を使用し、トイレ・シャワーも前室から入室。病室とは、扉で仕切られるため、夜間や早朝の利用時に同室者に音や明かりに気兼ねなく使用できるよう配慮されている。



4F病棟 2床室 水まわり

大便器は、清掃性に配慮して壁掛式を採用。シート床材を壁面まで巻上施工しているため、掃除がしやすく衛生的。奥には、手すりや折り畳み式のチェアを備えたシャワールームが設置されている。



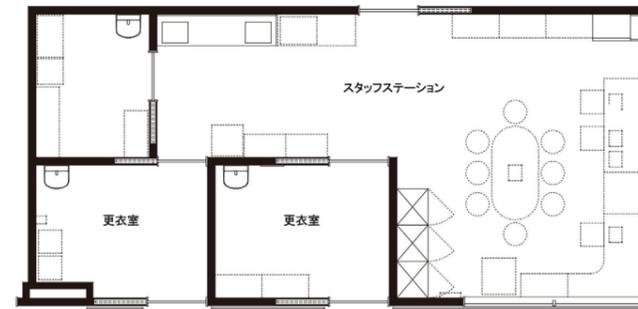
4F病棟 4床室

平時は4床室として運用。感染症病床として使用される際には、1床室としての利用も想定し、前室と病室側の双方に水まわりへの扉を設置して平時との使い分けをしている。



4F病棟 4床室 水まわり

4床室には、コンパクトながら介助しやすいスペースに、トイレとシャワーを機能的におさめた病院・高齢者向けユニット オクタゴンシリーズを採用。前室には、感染症病床時に病室から使用できる洗面器を設置している。

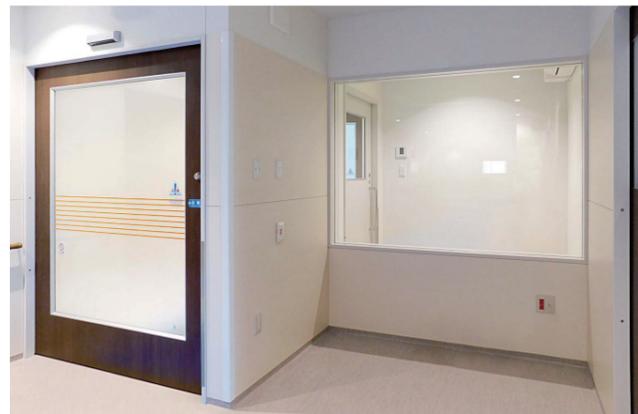


4Fスタッフステーション 図面



4F病棟 バリアフリートイレ

4床室の廊下に面したバリアフリートイレは、さまざまな症状に対応できるよう、介助者と車いすで入室できる広さを確保し、左右勝手違いを近接して設置している。



4F病棟 面会室

ガラス越しに顔を見ながら電話を使用し感染症発生時の知見から、患者と面会ができる面会室を、感染症病棟スタッフの要望で設置している。



4F病棟図面

すべての病室に前室が設けられており、前室の一部がトイレとシャワールームとなっている。隔離病床として使用する際は、平時前室から水まわりへ入室する扉を閉鎖し、病室から水まわりを使用できる仕様となっている。

## 水まわりの特長

### 建物の特徴

1962(昭和37)年に開設された「聖隷浜松病院」は、地域医療の中核的役割を担う静岡県西部の総合病院。医療の高度化と高齢化社会の到来によって、地域完結型医療を目指す医療機関として発展。浜松市や近隣の医師会との連携強化を図り、2004(平成16)年に地域医療支援病院に承認。JCI(国際医療機能評価機関)の認証も取得している。このたび、長年の課題であった駐車場不足問題を解決すべくS棟を建替え。地下と1Fに患者用駐車場を設けて緩和を図った。また、2Fは、他棟を含めたスタッフエリアを集約し業務効率を向上。3Fは、アイセクターを新設。さらに、4Fはコロナ禍の知見を活かした一般病床と感染症病床の機能を併せ持つハイブリッド病棟とするなど、より安全で質の高い医療を提供する体制が整えられた。

### 水まわりの特長

S棟の水まわりは、使いやすさと衛生面に配慮し、明るく清潔感あふれる空間としている。特に衛生面では、手洗いの行為に注力。スタッフが「一処置一手洗い」を徹底できるよう、エリアが切り替わる場所の入口付近や作業が発生する場所、スタッフステーションへの出入りとなる更衣室など、動線を考慮して適材適所に洗面器を設置。さらに、外来患者や入院患者の手洗いにも配慮し、外来入口などに洗面器を設置。特に、有事の際、隔離病棟としても機能する4F病室では、一般病室と感染症病室との切替を想定して、どちらの場合でも確実に手洗いできるような洗面器を用意。また、水まわりは前室と病室の双方に扉を付けることで平時と有事での使い分けを可能とするなど、知見を活かした工夫がなされている。

### 建築概要

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 名称    | 総合病院 聖隷浜松病院 S棟     |
| 所在地   | 静岡県浜松市中央区住吉2-12-12 |
| 施主    | 社会福祉法人聖隷福祉事業団      |
| 設計    | 株式会社公共設計           |
| 施工    | 清水建設株式会社           |
| 竣工年月  | 2023年7月            |
| 敷地面積  | 3,793㎡             |
| 建築面積  | 1,774㎡             |
| 延床面積  | 7,880㎡             |
| 構造・階数 | 鉄骨造・地下1階、地上4階      |

### おもなTOTO使用機器

- フラッシュバルブ式便器:C550NU
- ウォシュレットPS(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5554PR
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF583\*系
- 木製手すり柵一体タイプ:YHB63FBR
- 自動洗浄小便器:US900JCS
- ツインデッキカウンター(ポウルー一体タイプ):MKWE
- カウンター一体形コーナー洗面器:MLRA50B、MLRB32BBL
- 台付自動水栓:TENA126A、TLE26006J
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- コンパクトオストメイトパック:UAS81LNC1NW
- 背もたれ:EWC283CR
- ベビーシート:YKA25R
- ベビーチェア:YKA15R
- パブリック用手すり:T114CL10R、T114CU22R、T114HK6R
- スタッフ用手洗器:LS850R
- 病院用洗面器:MR104系
- 病院・高齢者施設向けユニット オクタゴンシリーズ:XRV1018U系